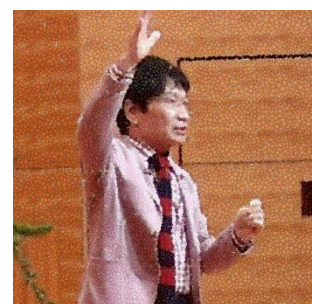
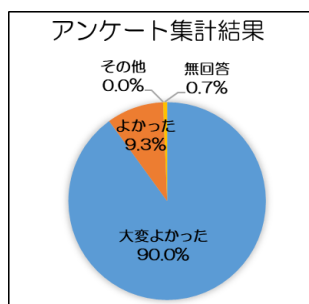


令和3年度 職員研修

目的	職員の資質向上を図る
日時・場所	令和3年10月5日（火）14：30～16：00 アルカス SASEBO 中ホール
対象	乳幼児教育・保育施設職員・小学校及び義務教育学校職員
演題	コロナ時代を生き抜くチカラ ～皆さんと一緒に考える～
内容	講演
講師	教育評論家/法政大学名誉 教授 尾木直樹 氏

参加者（合計 157 名）				
保育所	幼稚園	認定こども園	小学校	その他
67	10	33	18	29



【感想】

- ・生の姿、生の声、生の話にところが満たされ、カモわいてきました。コロナの子ども達への影響がよく理解できました。久しぶりに対面での講演会、とても新鮮でした、楽しかったです。
- ・質問に答える形でニーズに合ってよかったです。また直接聞くことで尾木先生の雰囲気や伝わりあたたかい気持ちになりました。
- ・職員間、又保育の中でも100通りの個性を生かせるように心がけたいと思います。「どうしたの?」「そうなの」今から実行します!
- ・保護者への啓発、日々の実践のヒントになる言葉をたくさんいただきました。尾木先生のもっともフレンドリーなお話であつという間に時間がすぎました。ご紹介していただいた「スマホ脳」読んでみたいと思います。登校渋り（行き渋り）の子に対する対応の仕方、アドバイスなど参考にさせていただき、現場で生かしていきたいです。
- ・心に余裕がなく、つい子どもに怒ってしまうことがあるが、子ども達のことを思ってどう伝えるのがいいのか考えていかなければならないと感じた。コロナ禍を生き抜くためにも子どもに寄り添っていきたい。

